

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」で重点的に取り組む課題に応じた目標の達成度等

| 実施自治体名 | 課題の類型1 | 課題の類型2 | 課題の詳細 | 左記課題の解決のために本事業で取り組むこと | 本事業で達成する目標(アウトカム) | 目標の達成度を測る指標 | 現状の数値 | 単位 | 本年度の目標値 | 本年度の実績値 | アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等) |
|--------|-----------|-----------------|---|-------------------------------------|---|--|-------|----|---------|---------|--|
| 奈良県 | ①学校運営上の課題 | 社会に開かれた教育課程への対応 | 本事業で実施している県立42校うち、教育課程を介していない学校が5校である。 | 要領の改訂を行い、教育課程を介した取組にのみ事業費の令達を行う。 | 授業における幅広い地域住民や団体等の参画により、地域と連携・協働して子どもたちを育む体制作りを進める。 | 「社会に開かれた教育課程を通して生徒の教育課題解決につながった」と回答した教員の割合 | 34 | % | 50 | 35.9 | 2 社会に開かれた教育課程の実現に向けて、幅広い地域住民の参画を得た取組が増加してきているが、目標達成に至らなかった。 その要因の一つとして、学校運営協議会において、生徒の課題について、十分な協議がなされていないことが考えられる。 今後は、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を目指して、学校運営協議会での熟議の重要性について理解を深める研修会を開催していく。 |
| 奈良県 | ①学校運営上の課題 | 教職員の時間外勤務の是正 | 「時間外に勤務すること」に負担を感じている教員の割合が33%となっており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。 | 各県立学校において、地域人材による地域学校協働活動推進員等を配置する。 | 県立学校に地域人材による地域学校協働活動推進員等を配置することで、教職員の負担を軽減し、学校と地域の連携・協働をさらに進める。 | 「時間外に勤務すること」が負担であると回答した教員の割合 | 33 | % | 25 | 28.2 | 2 県立学校において、地域人材による地域学校協働活動推進員等を配置するための予算を確保した。しかし、予算令達を希望した8校のうち、実際に活用できたのは2校であった。 地域人材による地域学校協働活動推進員等を配置していくことが、教職員の負担軽減に繋がると考えている。 今後も、地域人材による地域学校協働活動推進員等の配置を拡充するため、各県立学校への訪問等を通して、各校に地域学校協働活動推進員等の配置が進むよう伴走支援を継続していく。 |